

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 畜産安全課
 担当名: 家畜衛生担当
 内線: 4175

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P18	豚熱対策事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	家畜保健衛生費	家畜伝染病予防対策費	
事業期間	令和元年度～	根拠法令	家畜伝染病予防法			針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2	SDGsターゲット 2-4
1 事業概要	豚熱の発生予防の措置を講じる。			5 事業説明 (1)事業内容 豚への豚熱ワクチンの接種並びに、ワクチンの免疫付与状況及び異常豚の検査を実施するとともに、野生いのししへの経口ワクチンの散布並びに豚熱感染状況を把握するための検査を実施する。 (2)事業計画 ア 豚熱ワクチン接種事業 46,315千円 接種頭数 200,000頭 イ 豚熱清浄性確認検査事業 38,561千円 (ア) 健康豚 4,650頭の抗体検査 (イ) 捕獲いのしし 1,160頭の血液検査 (ウ) 異常豚、死亡いのししの病性鑑定 (エ) 野生動物の適正な死体処理のための実地演習 ウ 野生いのしし豚熱経口ワクチン散布事業 658千円 年4回、23市町村における経口ワクチンの散布の推進 (3)事業効果 豚熱の発生を予防するとともに養豚農家の経営安定を図り、県民へ安全・安心な県産豚肉を供給する。 (4)補正予算の概要 国の交付金(消費安全対策交付金)の減額に伴う県予算の減額 経費節減による削減 入札差金による減額					
ア	豚熱ワクチン接種事業 経費節減による削減 △160千円								
イ	豚熱清浄性確認検査事業 国の交付金減額に伴う減額 △898千円 入札差金による減額 △5,115千円								
2 事業主体及び負担区分	ア (県10/10)、(国10/10)、(国1/2・県1/2) イ (県10/10)、(国10/10)、(国1/2・県1/2)								
3 地方財政措置の状況	普通交付税(単位費用) (区分)農業行政費(細目)食品安全費 (細節)家畜保健衛生費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×29.8人=283,100千円								
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△6,173	国庫支出金	△3,156	使用料・手数料				△3,017	85,534
現計額	91,707		45,868	64,000				△18,161	

事業内訳書

事業名	豚熱対策事業		
単位事業名	豚熱ワクチン接種事業	予算額	△ 160千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△160	—	
合計	△160	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△160	—	経費節減に伴う自動車燃料費の減
合計	△160	—	

単位事業名	豚熱清浄性確認検査事業	予算額	△ 6,013千円
-------	-------------	-----	-----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 畜産業費補助金	△3,156	—	家畜衛生対策費補助金 補助率 定額、1/2
一般財源	△2,857	—	

単位事業名	豚熱清浄性確認検査事業	予算額	△ 6,013千円
-------	-------------	-----	-----------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△6,013	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△105	—	国の交付金減額に伴う打合せ等旅費の減
需用費	△392	—	国の交付金減額に伴う検査用消耗品費の減
役務費	△101	—	国の交付金減額に伴う検体郵送料の減
備品購入費	△5,115	—	検査用機器の入札差金による減
負担金、補助及び交付金	△300	—	国の交付金減額に伴う協議会への補助金の減 野生いのしし捕獲1頭あたり6千円、50頭分
合計	△6,013	—	